

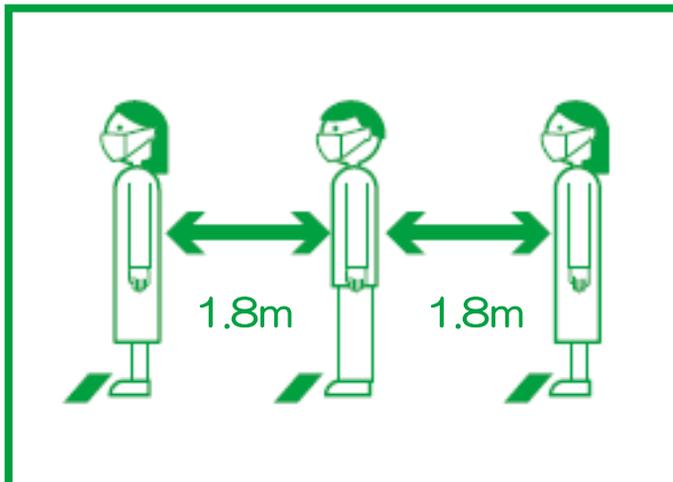
基本的な感染防止対策の更なる徹底について

1 入場整理等の徹底

施設規模に応じて
入場者数や滞在時間を制限し
入場者数の約**5割削減**を目標
(緊急事態措置開始前の7月と比較)



2 人と人との距離の確保



入場の列は間隔
(原則**1.8m**) を空ける
とともに、行列の整理や
立ち位置の表示を行い、
混雑を回避

3 不織布マスクの正しい着用を

入場者、従業員に
不織布マスクの正しい着用
の徹底を周知



【参 考】 具体的な取組の例

1 入場整理等の徹底

【施設全体での措置】

- 出入口にセンサー、サーモカメラ等を設置し、入場者・滞留者を計測し人数管理を行う
- 出入口の数の制限、入場制限、駐車場の収容上限の一時的削減等により人数制限を行う 等

【売場別の措置】

- 入口を限定し係員が入場人数を記録、入場整理券・時間帯別販売整理券の配布、買い物かごの稼働数把握、事前のWeb登録等により人数管理を行う
- 一定以上の入場ができないよう人数制限を行う
- アプリで混雑状況を配信できる体制を構築する 等

2 人と人との距離の確保

- 利用者の列が想定される場所に、立ち位置の目印を設置
- 施設の特性によって距離の確保が困難な場合でも、レジ前は1.8mの距離を確保 等

3 不織布マスクの正しい着用を

- 入場者、従業員の着用状況を目視等で確認
- 非着用者に対して、個別に注意喚起を実施（持参していない人にはマスクを配布） 等